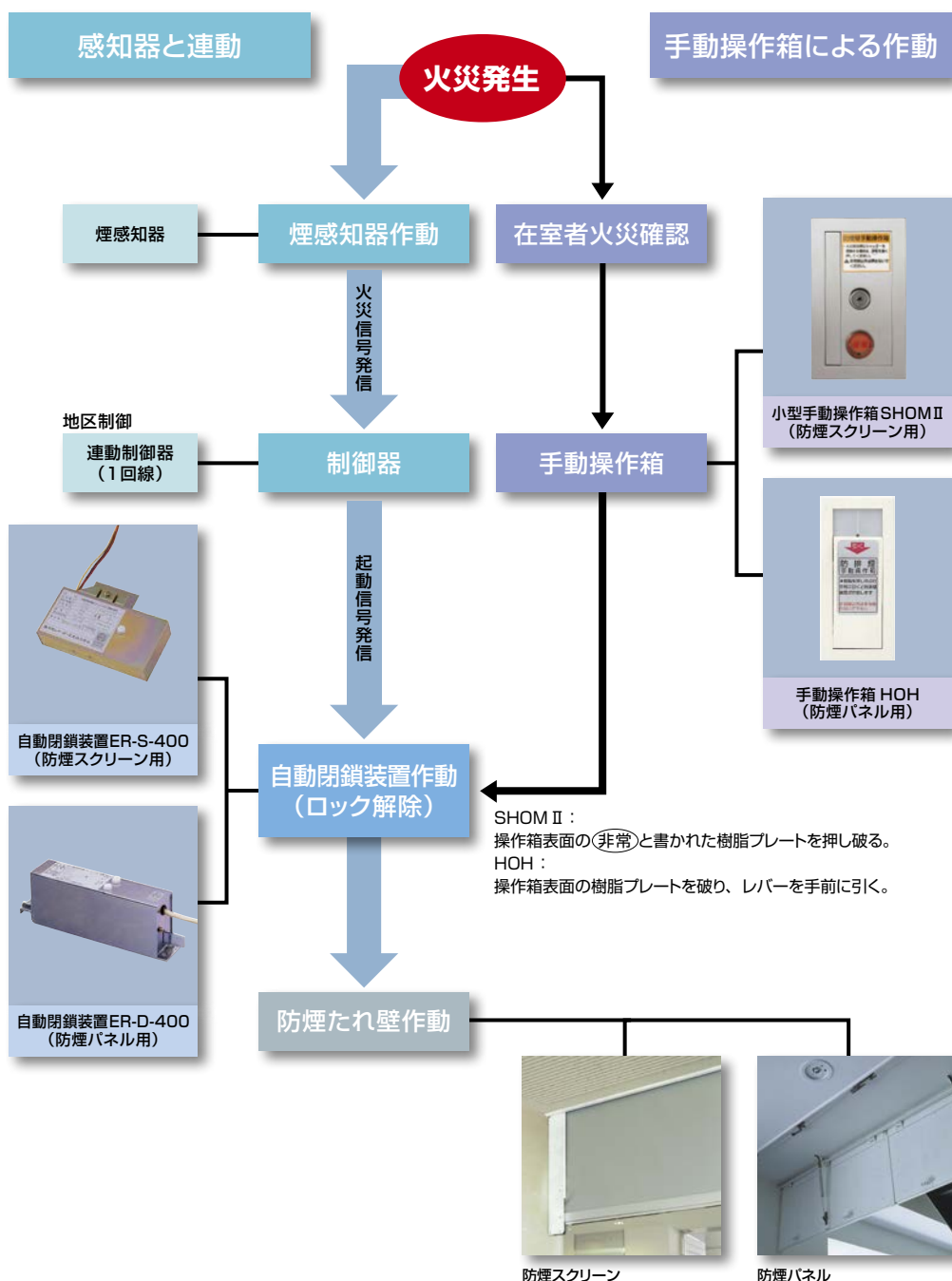
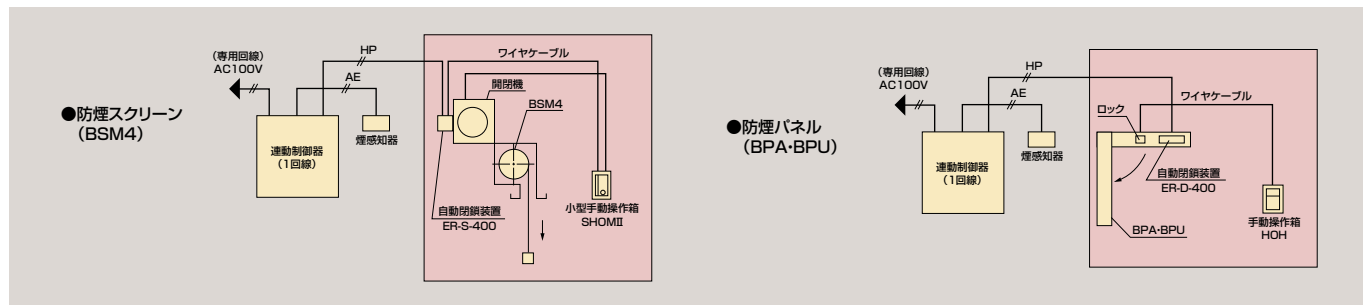


■防煙たれ壁と防災機器

建物の高層化やさまざまな建材利用の中、火災で最も恐ろしいものは『煙』による事故です。室内空間の複雑化、デザイン化がすすむ今日、建築基準法に基づくこの防煙対策は、建物に欠かせない機能として、ますます高度な対策が要求されています。

LIXIL 鈴木シャッターの「防煙たれ壁」は、多くの火災データからの貴重な教訓を生かしたシステムです。それは予測できるあらゆる状況下での正確・迅速な作動、対応を可能にするばかりか、平常時、室内空間の意匠性を損なわない“機能美”など、独自の工夫が隅々に施された防煙のためのシステム・プロダクトです。

■部は当社指定機器をご使用ください。



防煙たれ壁

SEロールⅡの可動レール式なら、スクリーンと一緒にガイドレールも天井内収納され、通常時の室内空間の視界を妨げません。

可動レールの組み合わせによりL字、T字、十字などのバリエーション豊富な納まりに対応できます。



■特長

- 火災時に煙感知器との連動により、スクリーンとガイドレールが同時に自重降下します。
- スクリーン降下のためのガイドレールが可動型で天井に収納されますから、平常時の壁や柱はスッキリします。
- 可動レールの組み合わせによりL字、T字、十字などのコーナー納まりが可能。フレキシブルなスクリーンの配置に対応できます。
- 防災性能評定品 (BCJ評定-BE0007) です。

■仕様

■形式

スクリーン巻き取り方式

■操作

降下：感知器連動または小型手動操作箱SHOMⅡの樹脂板を押し破る
巻上：小型手動操作箱SHOMⅡの引手をくり返し引く

■スクリーン

不燃布 [ガラス繊維塩ビコーティング]
不燃材 大臣認定：NW-1861

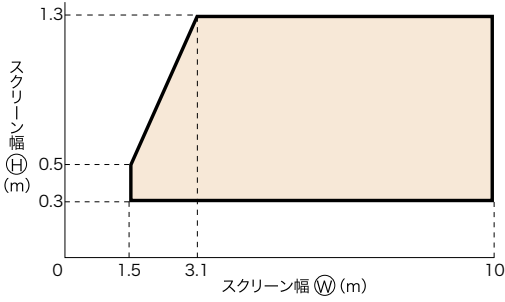
■可動レール

スクリーンと同時に天井内に収納
※固定(埋込み)レールも可

■使用条件

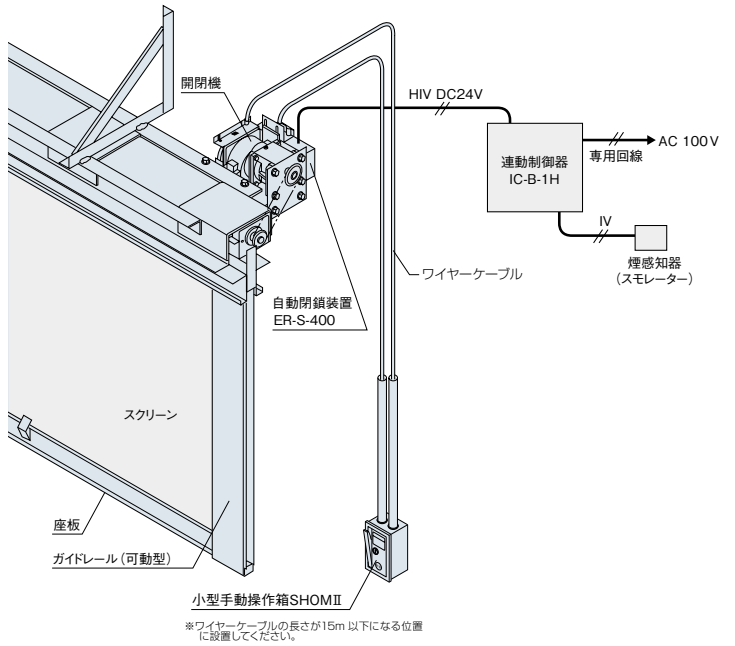
- 周囲温度：-10℃～+40℃(凍結状態は除きます。)
- 周囲湿度：RH85%以下
- 環境条件：沿岸部、化学工場などの腐食性環境を除きます。
※設置の際は、天井高さがⓂ+1850mm以上必要となります。

■使用範囲

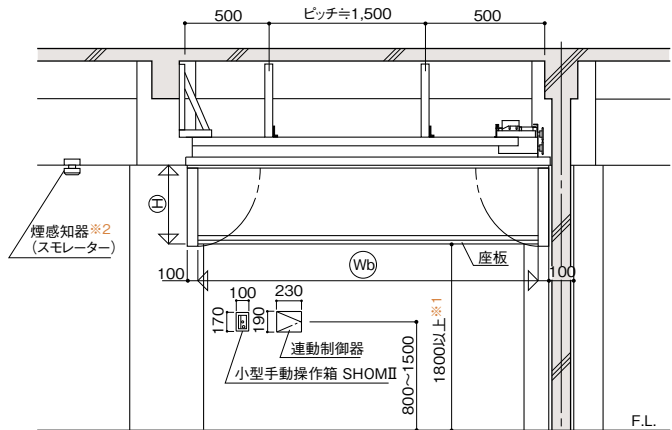
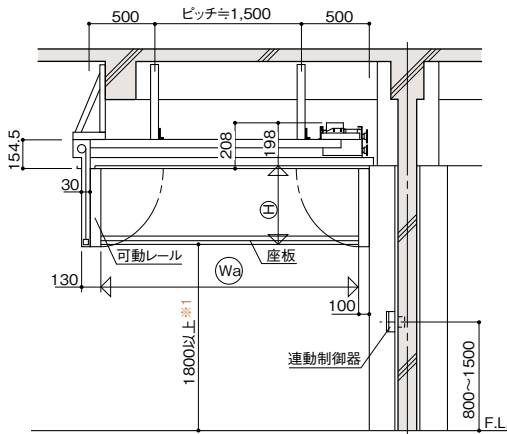


- 直線納まりの場合、可動レールにより2連で $W=20m$ まで可能です。 $W=20m$ 以上をご計画の場合はお問い合わせください。

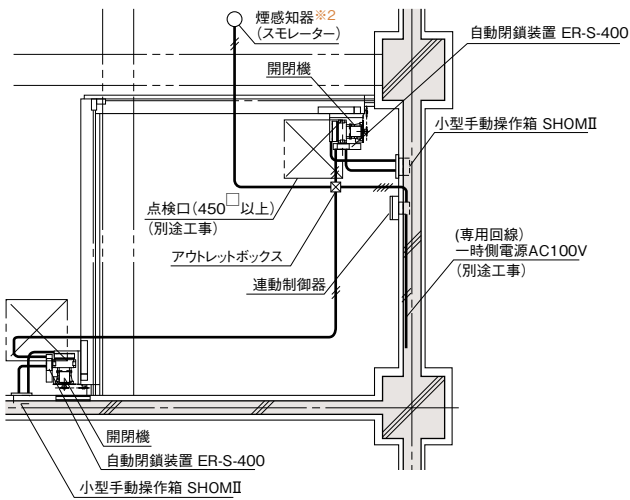
■構成図



■納まり図



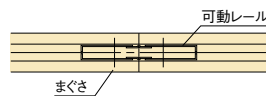
- ※1 防煙スクリーン降下時は、座板の下端からF.L.までの距離が1800mm以上必要となります。
- ※2 煙感知器は防煙たれ壁本体から0.6~10m以内の距離でたれ壁本体の両側に設置する必要があります。ただし、たれ壁 W が大きい場合は防煙区画線に沿って5m以内ごとに煙感知器を設置することを推奨します。



■可動レール納まり

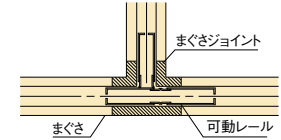
●直線納まり

レール2本を一線に納めます。



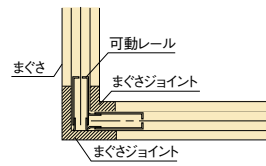
●T字納まり

レール3本をT字型に突き合わせて納めます。



●直角納まり

レール2本を直角に突き合わせて納めます。



●十字納まり

